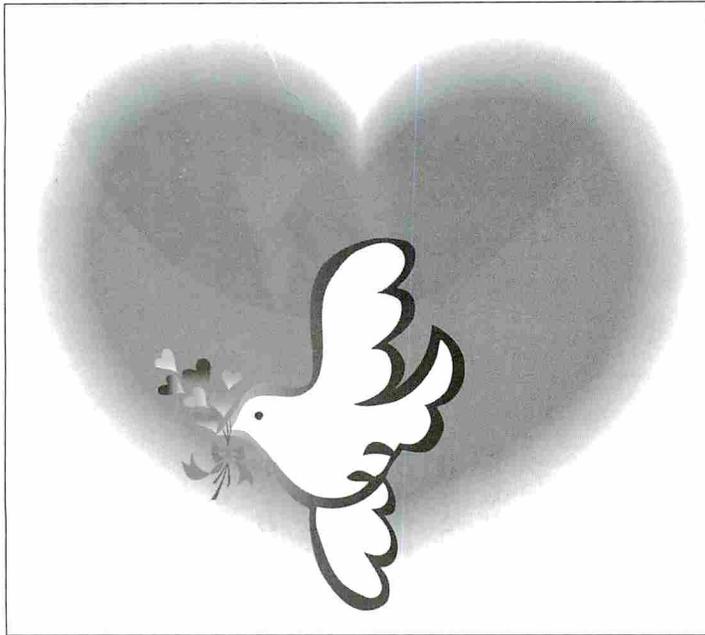


第 18 号

1999.HOYU

# 朋友



佼成看護専門学校同窓会



平成11年10月4日午前10時34分、本校の創設者であられる庭野日敬開祖様をご入寂されました。本校で多くの学生が卒業し日本中で看護婦としてまた保健婦、助産婦として働いています。この学校があるのも開祖様のお陰です。開祖様が入院されたのは佼成病院です。

総婦長始め婦長、主任、病棟の看護婦皆で看護させて頂いたそうです。いつも穏やかなお顔で、笑顔がとても素敵でお顔を拝見するだけでほっとする、また、開祖様のまわりからいつもオーラーがでていという看護婦さんのお話も伺いました。御法の話がされたり、人生についてなどいろいろ話られ、病室はいつも明るく人が絶えなかつたそうです。

ご入寂の時、開祖様は家族や多くの方々に見守られ、目を大きく開けて集まった人達をぐるりと見渡し、にっこりされて目を閉じられたと伺いました。大往生という言葉のごとき様子であったそうです。心よりご冥福をお祈りしたいと思います。

# 成道会 キャンドルサービス



名譽校長  
小野田敏郎

イスタンブールの街から海峡を渡ったウレコクグラの町に着く。ガイドが記してくれていた紙切れを手にタクシードライバーが働いた野戦病院に向かう。降り立つと三階建てに立派な塔を持った建物が、目の前にある。早速カメラを向けパチパチ撮影していると剣付き鉄砲の兵隊が駆け寄って来て止せよと合図する。驚いて、ジャン・ナイチンゲールなどと連呼していると、穏やかに歩いた兵隊さんは一緒に写真に収まろうとする。ここが露土戦争のとき素人の女性3名を連れてナイチンゲールが出征してきたスクタリの野戦病院跡であった。

ナイチンゲールはイスタンブールから清潔な病具の材料を取り寄せ、栄養のある患者食を提供し、夜はキャンドルを捧げて病室を巡り白衣の天使と喜ばれたのである。

ロンドンの国会議事堂の対岸にセント・トーマス病院がある。病院の庭に小さなナイチンゲールの像があり、そこから東が、ナイチンゲール看護学校である。ナイチンゲールは看護の学校を創立し学院長を務めていた。クリスマスイブに病棟を見舞う学生のキャンドルサービスは、ナイチンゲールが戦中を偲んで始めたのではないかと推察する。

ナイチンゲール看護学校の教育は今世界の看護学校に拡められ、聖ルカ看護学校もその伝統を受け継いだかと推察する。聖ルカの橋本寛敏先生からクリスマスイブの学生キャンドルサービスは大変患者さんから喜ばれているというお話も賜わった。



第1回成道会キャンドルサービス

た。初代の聖ルカ出身の一、二科教務部長亀が森・樋口両部長から具申もあつた。

冬の聖なる夜が望ましいということであつたがこちらはキリスト教ではないのでクリスマスマスイブに代わり、お釈迦様が菩提樹のもとで悟りを開かれた12月8日の成道会を選んだ。これは学院行事としてではなく篤志行事として行われることになり、1年生は全員上級生の有志が誘導し、3班に分かれキャンドルを捧げ「みほとけは」の讃歌を低く斉唱しながら病棟を巡る。その第1回は昭和46年に行われた。一昨年成道会キャンドルサービスが行われ、夕に訪れた今西教員から話を伺った。この時庭野日敬先生が軽い肺炎で入院されていた。この状況を知らされていない学生は悦のごとく病棟を巡り先生の病室に入り、成道会の総説さえ述べた。制服にキャンドルを捧げた学生には清静(すがすがしい)気持ちされた患者さんの様子が判明されるわけではない。豊かに清く慈悲の心を養った学生の姿をごらんになった開祖先生は秘かに微笑んでおられたと拝察する。

暗炎の炎はすぐに消えたが病室が気に入られた先生は自宅にお帰りなく、長く病室に留まられたのであつた。

10月2日車椅子で長く外に出ていたため腰痛をひどくした私は、常備薬を服用してその夜は戦艦大和が東シナ海の底深く菊のご紋章と沈んでいるテレビにショックを受け翌日朦朧としていた。これをキーパーの人が病院に通し4日夕、病院救急車に迎えに來られ整形の受診を受け大過なく帰宅した。

した。帰着の折、島総婦長より開祖先生が本日おかくれになったことを告げられた。後日内科に伺ったところによれば、何のご病氣もなく大木が枯れるがごとき涅槃であられたと添えられた。

開祖先生はよく病は不徳により招かれると仰られていた。仏道の心を充たされた先生は病のつけ入る余地もなく大木のごとき枯死されたのであつた。

その1年近くの間、病室が良いと気に入られた。俊成の卒業生の介護が見事であつたのであろう。この学院を去った老学院院长は嬉しくありがたく思うのである。

\* \* \* \* \*

平成11年10月15日の俊成新聞に次の記事が載っていました。

俊成看護専門学校に通う横田亜希子さん(20) 〓 小山教会 〓 は、発祥の地付近で庭野開祖に別れを告げた。

昨年12月8日、横田さんは、同校が実施している俊成病院でのキャンドルサービスで庭野開祖の病室を訪ねた。緊張の面持ちで病室を目指した横田さんの目に飛び込んだできたのは、病室の前で車イスに座る庭野開祖の姿だつた。横田さんは、耳元で「成道会」の意味が書かれたカードを読み上げた。その間、右手は庭野開祖の両手に包まれていた。

ご尊体を見送りながら、横田さんは、その時のことを思い出していた。「私はこれまで以上に看護の勉強に励みます。人さまに尽くし続けた開祖さまのように、思いやりのある立派な看護婦になります」。

# 開祖様の思い出



同窓会会長

浜田みどり

常時の様に夕食後、朝・夕刊をじっくり読むのが習わしで三面記事を読んできました。日頃目にしないのですが何気なく下欄に目が向いたので、見たところ会長先生（現在の開祖様）が亡くなられました記事が目飛び込んできました。

とたんに、見覚えのある顔が思い出され、悲しみよりも懐かしさがこみ上げてきました。誰でも命のある限り何時かは別れの日が来るのですが、卒業後学校には役柄立ち寄らせて頂くのですが、立正佼成会は近くて遠い存在でしたので、私たちの入学式に来て下さったお姿が目につくたび、悲しみよりも懐かしい気持ちの方が先に立ったのだと思います。

ある同級生から新聞を見て真っ先に看護学校にいる同級生に連絡が入ったそうです。

私も数名の方にお話を伺うため連絡をしたのですが、皆新聞から情報を得て知っていましたので、この度の思い出に原稿に一言述べて頂くことにしました。

私たち1期生24名は入学から誰一人欠けるこ

となく卒業することができました。

昭和44年5月8日、入学式と、学校の開校式が、木造のプレハブ作りの仮校舎で行われました。階段を上るとギンギンと音がして、ダルマストーブタイプの灯油ストーブが黒板の右となりにある、第一教室でした。

24名一人ひとりこの感激は残っていると思いますが、私を筆頭に開祖様からの訓示内容は覚えていないという人もいました。けれども、一様に真っ先に出た想い出は「あの何ともいってよいのか、あの笑顔というのでもないけど笑顔かなあ」どこにいても（どこに住んでいても）名前を伺い思い出すのは、あの笑顔、という言葉でした。

先生の顔写真を拝見し、入学式の時にもそうであったがどこにいてもあのお顔が常に浮かんでくる。宗教のことを知らないで入学し、開祖様のことも存じ上げなかった。でも初めてお会いした時の何とも言えないあのお顔、姿からオーラが見えました。

普通、学校は35名とか40名50名など区切りの良い数字で学生を取るところ24という不思議さを感じていましたけれど、24という数字は特徴があつて、学びやすい数字であると言われたような話を伺った。24という数字は始めと終わりという意味があるとも伺った。24名の入学者数についても訓辞の中でお伺いしたことも思い出されていた人もいました。ちなみに24は末広がり、の数字で大変良いのだという話もあった。又ある人からは「一般的にいつても宗教は見返り

というか、信仰を強制したり何かを要求するが、佼成会は全くそのようなことはなかった。入学したからといって信仰を勧めることも、そして卒業式では理事長さんから、卒業したこれから、社会のためにお返しをするので良いのです。社会に出てから返して頂けたら良いという内容の話をいただいたが、佼成病院で働く人も強制されず、大変広い気持ちで、佼成会の広い気持ちにわかつたね。つまり、先生の教えなのでしょね」等と話が出ました。私も佼成病院に入職することなく現在に至っています。

看護専門学校記念誌をひもとくと開祖様は「看護婦は態度や処置が病める人々をどれほど勇気づけ、又失望させるかを考えると病人の看護に当たる人にとって、この世の中のどのような仕事も、仏道修業の心構えで取り組まなければならないという教えがあるが、この心構えこそ不可欠のものであり、大切なものである。」というお話がありました。20数年前に先生がおっしゃった内容のことが今その必要性から高学歴となりつつある看護の専門職業に對し問われているのであります。これからの看護の道を進むべく学んでいる学生の方々、看護を職業として多くの同窓生の皆様、そして家庭に合った、家族に對し看護を提供している多くの同窓生の皆様、あらためて先生の慈しみ、尊いお顔を想い出しつつ、その広い豊かな心に育まれ、佼成の同窓となったことに感謝しつつ、お別れしましょう。

# 皆様に御報告



副校長

太田 博子

佼成看護専門学校同窓会の皆様こんにちは。  
佼成看護専門学校も西暦2000年4月には32期生を迎えることとなります。学校が今日を迎えられましたのも、同窓生の皆様の看護の道だけでなく、様々な分野でも活躍に支えられてのことと感謝申し上げます。

1999年は学校にとりまして、創立31年目という一つの節目の一年でした。皆様もご存知のように、本校を開設されました開祖様が10月にご入寂されました。開祖様は10年誌の中で次のように述べられています。

「最高の技術を持った専門の医師、そして信仰に基づいた慈しみの心をもつ看護婦、この二つが相俟ったとき真の医療が行われるのであります」

今、医療は21世紀を目前にし、不安定な経済状況の中、高齢社会を迎え様々な問題を抱えています。その中で看護も質を問われています。

佼成看護専門学校が、真の看護の心と技術を備えた人材の育成をめざして開設されたことを改めてかみしめる年となりました。

さて、皆様に一つご報告申し上げることがあります。それは創立31年を記念し「佼成看護専門学校校歌」が完成したことです。一昨年より「校歌」の作成を進めておりましたが、作詞を名誉校長の小野田先生にお願いしたところ「皆さんが作った記念歌があるではないですか。」のお言葉を戴きました。そこで、多くの記念歌の中から、候補にあげ数編に絞り、最終的に「第27回 記念歌」を校歌にすることに決まりました。学生や皆様の思いを反映したとてもよい歌だと思えます。編曲は佼成ウインドオーケストラの大川克夫様が引き受けてくださいました。2000年の同窓会の総会で皆様にはご披露したいと思っております。

終わりにになりましたが、私は昨年4月より高木副校長より引継ぎ副校長職をつとめさせていただいております。色々未熟な部分もありますが、教職員、多くの同窓生の皆様のお力を借りながら努力したいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 佼成看護専門学校校歌

作詞 水町優子 山下美香 木内花奈  
作曲 庄司静香 濱口貴絵 西中明日香  
米山雅美 亀井 恵  
編曲 大川克夫

一、今歩みゆく看護の道  
仲間と共に助け合い  
希望の光に導かれ  
努力の心学びゆく

二、今生きている喜びを  
全ての人間とわかち合い  
命の尊さ胸に秘め  
慈悲の心育てゆく

# 佼成看護専門学校校歌

作詞 水町優子 山下美香 木内花奈  
 作曲 庄司静香 濱口貴絵 西中明日香  
 米山雅美 亀井 恵  
 編曲 大川克夫

い

ま あゆ みゆ く み とりの み-ち な

か まとと-も に た す け あ-い き

ほ うの ひ-かりに み ちび-か れ

は げみの こ-ころ ま な ひ-ゆ く

ま いきてい る よ-ろ-こび-を す

べ ての ひ-と と わ か ち あ-い

の ちの と う と-さ お ね に-ひ-め

お もい の こ-ころ そ だ て ゆ く

## 卒業生は今

### 教員として



17期生  
高沢 章予

同窓生の皆様、こんにちは。このたび、佼成病院中央手術室から母校である佼成看護専門学校へ異動となりました。当初は、今までと仕事内容が異なり、戸惑うことが多かったのですが、少しずつ学生のことが見えてくるようになり、気持ちにもわずかですが、ゆとりがでてきました。

学校に戻り、実習や授業をしていると、基本の大切さを痛感します。学生に対して何かを教えるというより、私自身の学習を深めなければならぬ毎日です。日々、勉強の毎日ですが、がんばっていききたいと思います。



20期生  
藤本佳世子

私は去年の4月から教員として働いており、実習では母性看護学を、授業では基礎看護学援助論を担当しています。

病棟では学生に関わる時とは勝手が違い戸惑う場面もありましたが、他の教員や病棟スタッフの協力で何とか乗り切ることができました。私が学生の頃と比べると学校や寮の設備もそうですが、授業の内容や方法も変わりつつあります。

しかし、学生の習慣などいまだに残っているものもあり不思議な感じがします。卒業後1度も母校へ足を運んだことのない方はぜひいらしてみたいかがでしょうか？

### ■ 学校事務局より

証明書が必要なときは、証明書交付申請書（用紙は事務室に備付）を提出していただくことになっていきます。遠隔地からの申込みの場合は、返信用封筒に切手の貼付、住所、氏名、郵便番号を記入して同封し、必要事項を手紙に書いてお申し込み下さい。成績証明書については、書留にて提出先へ郵送しますので、提出先の所在地、名称を記入の上、お申込み下さい。ただし、学校受験に限り本人宛に渡します。尚、作成まで時間を要しますので計画的に申込みをして下さい。

手数料はつぎの通りです。

卒業証明書一通につき 二〇〇円

成績証明書、内申書 一通につき 五〇〇円

書留送料 一通につき 五〇〇円

送り先 〒166-0012 東京都杉並区和田一三三十四

佼成看護専門学校事務局

電話〇三三三三八四一六一六一

なお、住所変更、改姓された方は、必ず連絡下さい。郵便でも電話でも結構です。郵便物が時々届き、転送するのに困っております。

## 同窓会会計報告

毎回、会費納入に際しましては、皆様の御協力を頂いております。終身会費制に移行し、各々の都合により一括払い、分割払いの方法で納入も順調になってきております。

来年度は総会開催の年にも当たり、会費を有効に使用して頂きたいと企画も頭をひねっているところであります。

是非、皆様の御意見、御要望もお聞かせ下さい。また振込用紙の同封されている方は振り込みをよろしくお願い申し上げます。

万全を期しておりますが送金後の請求など時々、不手際なことがあるようですが、その際は、ご一報下さい。

## 平成10年度収支決算報告書 (H10.4~H11.3)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	3,189,873	経費	191,074
同窓会費	384,566	通信費	68,500
		印刷代	96,000
		慶弔見舞金	18,900
		委員会運営費	7,020
		雑費	654
		次期繰越金	3,383,363
		郵便預金	3,371,416
		現金手持高	11,949
合計	3,574,439	合計	3,574,439

## 役員名簿

会長 浜田みどり (山下)  
 副会長 鳥海優子 (小野)  
 会計 松崎美香 (松田)  
 会計監査 小林ひろこ 稲垣由美子 (鷺尾)  
 書記 高木貴美 (近藤)

### クラス委員

クラス委員は各クラス毎に決めて報告していただいています。  
 変更、誤りがあれば連絡下さい。

I 科	氏名 (旧姓)
1 期生	細谷恵美子 (神田) 今西潤子 (日浦)
2 期生	篠原夏子 (小沢) 萩原実千代 (川上)
3 期生	依田典子 (牧瀬) 斉藤陽子
4 期生	遠藤裕子 (南野) 塚田陽子 (須藤)
5 期生	杉本睦子 (青田) 山崎玉子 (福島)
6 期生	山田郁代 (松岡) 鈴木千恵 (大倉)
7 期生	白石りつ子 (新津) 熊木美智子 (渡辺)
8 期生	水谷友子 (池田) 田中祐子 (山谷)
9 期生	鈴木結加里 (恒松) 角谷恵子 (金谷)
10 期生	小畑由美 (原田) 斉藤久美子
11 期生	谷口重子 (新井) 竹田慶子
12 期生	大山美代子 (松崎美香) (松田)
13 期生	入江清子 (玉川) 慶留間美由紀 (長尾)
14 期生	小松恵子
15 期生	林貴美代 (河合) 高木貴美 (近藤)
16 期生	菊地悦子 (染谷) 角田由里 (大島)
17 期生	吉岡未散 (竹内) 山下志乃 (板根)
18 期生	常泉香茶江
19 期生	館野知鶴子 服部美千代
20 期生	春木千穂 田中泉
21 期生	小杉育英子 内田景子
22 期生	宮下亜紀 鈴木美和
23 期生	古田貴保 山田七夏
24 期生	外山めぐみ 稲垣澄恵
25 期生	十九浦似花 渡部由起子
26 期生	小田光栄 菅野美香
27 期生	佐藤憲子 太田都
28 期生	山田忍 水町優子

## II 科 氏名 (旧姓)

1 期生	新井キサ子 浦田寿代 (前川)
2 期生	矢部美智子 島みどり (菊田)
3 期生	赤松幸子 (照沼) 高谷早苗 (和田)
4 期生	田辺和江 西川加代子
5 期生	飛田たい子 佐々木秀美
6 期生	稲垣由美子 (鷺尾) 佐藤清恵 (渡会)
7 期生	佐々木フミ子
8 期生	朝妻晴美 山口悦子
9 期生	早見恵美子 (五十嵐) 大森ケイ子
10 期生	岡田千秋 新井里枝子

## 平成10年度 同窓会活動報告

4月 30期生入学式 会長祝辞 花束贈呈  
 5月 定例役員会 顔合わせ  
 (朋友打ち合わせ、会則について検討他)

11月 戴帽式 副会長祝辞 花束贈呈  
 12月 定例会議 (会則、朋友送作業他)

3月 27期生卒業式 会長祝辞 花束・記念品贈呈

\*\*\*\*\*

■お知らせ 平成12年7月23日(日) 同窓会総会開催。10時~14時、中野サンプラザにて。  
 ■お断わり 都合により第28期生の紹介は次号の掲載とさせていただきます。

### 編集後記

今回は開祖様の想い出を語ってもらいました。世界の宗教界に偉大な功績を残されたことなど、一般各紙に取り上げられ、佼成、躍進等にも書かれているので是非ご覧ください。

朋友担当委員

### 同窓会事務局

〒166-0012 東京都杉並区和田一―三―十四

☎〇三―三―三八四―六一―六一

佼成看護専門学校